

かけはし

沖代小学校だより 第9号

平成28年2月 発行

文責：栗田 英代

<http://syoun.oita-ed.jp/nakatu/okidai>

体育館の改修工事が終わりました

2月2日の児童朝会は、できたてほやほやの体育館で行うことができました。玄関に入るなり、子どもたちは、「わぁ〜」「すご〜い」。その美しさに、感嘆の声をあげたり絶句したり。壁には木の温かみが存分に使われ、トイレは男女別になり、それはそれは綺麗になりました。用務員の竹内さんが、雑巾かけやペーパーホルダーを手作りでつけてくれ、細部まで心のこもった使いやすいトイレになっています。



児童朝会では、中津市や大分県や国のたくさんの方が納めてくれた税金で体育館の工事ができていること、だから感謝して大切に使うこと、汗をいっぱい流してほしいこと、大人になったらしっかり働いて税金を納めて、また次の子どもたちのためにきれいな体育館を建ててあげよう、という話をしました。

体育館の引っ越しでは、6年生が大活躍。重いマットや道具、パイプ椅子もたくさんあったのですが、グループで協力して楽しそうに働き、スムーズに終わらせることが出来ました。綺麗な体育館で、どの学年も、体育の授業への取り組みが、一層よくなっているようです。

みなさんの体育館、ぜひ一度ご覧になってください。

「たてわり活動」から学ぶこと

沖代小学校では、毎日の掃除とゲーム集会等を縦割り班で行っています。ここでは、6年生は、みんなリーダーです。掃除の開始時刻に間に合うように早めに行くのはもちろんのこと、そうじ分担を決めたり、やり方を教えたり、さらには反省会の司会進行や「班長から」の一言もあります。



わずか15分間の掃除時間ですが、1年間の積み重ねとなると、この時間に学ぶことは少なくないことでしょう。

先日、ゲーム集会がありました。鬼になっている子どもも、手をつないで逃げている子どもたちも、勝敗にこだわらず、低学年を楽しませようとしている心遣いが、ほほえましかったです。

5年生は、リーダー見習い中。幼稚園児の学校探検では、来年度のペア学年である5年生が手をつないで校内を案内し、給食を一緒に食べました。その表情の優しいこと優しいこと！6年生になる心の準備が、少しずつできているようです。



1年生を真ん中に入れて、優しく急げ！

「自分の仕事に責任を持とう！」

学校には、給食当番や掃除、係、委員会などたくさんの仕事があります。大変な時もあります。「なんで私が？」という子がいるかもしれません。しかし、「自分の仕事をする」「友達のために体を動かす」ことは、子ども達が成長していく過程ではとても大切になります。だからこそ、一生懸命に掃除をする子を、自分の仕事に責任を持って頑張る子を褒めていく必要があります。



家庭でも、子どもたちの仕事があると思います。家族の一員として自分にできることをみつけ、進んでやろうとしたり、働く喜びや大変さを感じ取り、働くことの大切さを考えたりする良い場だと思います。ぜひ、ご家庭でも「仕事をすることの大切さ」について話をしていただけたらと思います。

子どもたちの安全のために

○登下校の安全

①登校時刻が守れているでしょうか。

朝食をしっかり食べ、時間にもゆとりを持って登校させてください。

②決められた通学路を登下校できているでしょうか。

③歩道から車道へ飛び出ることなく、安全に気をつけて歩いているでしょうか。

④下校後、友だちの家に行く場合、一度自宅に帰れているでしょうか。

行き場所を家族にきちんと伝えているでしょうか。

⑤信号の合図をきちんと見て、左右の安全を確認して横断しているでしょうか。

⑥横断歩道をきちんと渡っているでしょうか。



誰もが、これまで「ひやり！」とした経験があると思います。『ヒヤリ・ハット』という言葉をご存じでしょうか。『ヒヤリ・ハット』とは、重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例をいいます。

重大な事故が発生した際には、その前に多くの『ヒヤリ・ハット』が潜んでいるそうです。結果として事故に至らないと、「ああ、よかった。」と、すぐに忘れてしまいがちです。いろいろな機会をとらえて、話題にあげて家族で話し合ってください。

○不審者対策

先日も不審者情報があり、学校から注意喚起を呼びかけるメールを配信しました。

『いかのおすし』の合言葉を子どもたちと確認しています。

『 ついて いか ない。 しら ない車に のら ない。

お お ご え で 叫ぶ。 す ぐ 逃げる。 し ら せる。 』

また、

①一人で帰らない

②寄り道をしない

③人通りの多い所を通る

ことも学校で指導しています。ご家庭でも声かけをお願いします。

